

# 土日閉所の取り組み浸透

日合協  
調べ 日曜全休、土曜も予約だけに

## 東京地区の合材工場

東京地区のアスファルト合材工場で、土日の休業を推進する土日閉所の取り組みが浸透している。以前は飛び込み注文に対応するため土日も工場を稼働させていたが、働き方改革の一環で2024年度から閉所や予約だけの出荷とした。日本アスファルト合材協会（日合協、今泉保彦会長）の調査によると、24年度の土曜日の平均閉所率は上期（24年4～9月）が30・2％に対し、下期は（24年10月～25年3月）36・8％と上昇した。

調査対象は東京地区などの29工場。第1・第3土曜日は完全予約制だけで出荷する休業推進日、第2・第4土曜日は出荷を受け付けない休業日にし、日曜日は原則全て休業日とした。調査では地区内の5支部がそれぞれに設定している休業日の目標に対し、達成した

割合を集計した。

閉所実績の推移を見ると、土曜日は上期が30・2％、下期が36・8％。日曜日は上期が63・2％、下期が71・4％といずれも下期にかけて上昇した。閉所できなかった理由を見ると、「その他の出荷」（48・9％）がほぼ半分を占め、次いで「顧客への出荷」（40・5％）、「社内工事への出荷」（10・7％）と続いた。

日合協は土日閉所が完全に達成されていない要因として「各工場の判断で、大口の注文が入った場合は休業日や休業推進日でも稼働

させている実態がある」と分析。また、平日にできない舗装工事があることも土日閉所を妨げる一因となっているとみられる。

合材工場の慣習として、これまでは出荷量が少ない土日も飛び込み注文に対応するためスタッフが待機していた。こうした現状を改善するため、東京地区は災害時など緊急工事を例外とし、土日を休業日や休業推進日にすることをホームページで周知。土曜日の休業推進日も完全予約以外受け付けないことを呼び掛けている。

